

## 「運動部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会」

令和3年1月26日(火)

東部公民館講堂

### 次 第

#### 開 会

#### 1 本会の設置について (資料1)

- (1) 本会の趣旨及び概要について
- (2) 組織の構成員について

#### 2 報 告

- (1) 総合型地域スポーツクラブ実態調査 (資料2)
- (2) 山形県内の好事例発表
  - ・ さげがわ友遊 C'Love
  - ・ アーチェリー競技における合同部活動

#### 3 協 議 (資料3)

- (1) 運動部活動と地域スポーツクラブ等の現状・課題
- (2) 対策

#### 4 その他

#### 閉 会

## 山形県における運動部活動と地域等の連携の在り方 に関する検討委員会 設置要綱

### (設置)

第1条 山形県における運動部活動と地域等の連携の在り方に関して、有識者による検討を行うため、山形県における運動部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会(以下「委員会」)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、山形県の運動部活動改革が「生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築」と「教員の働き方改革」を両立させたものとなることを目指すために、運動部活動と地域等との連携の在り方について、スポーツ庁が示した「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」を踏まえ、専門的な見地から検討を行うものとする。

### (委員)

第3条 委員会の委員は、有識者のうちから山形県教育長が委嘱又は任命する。

2 必要があればオブザーバーを置くことができる。

### (任期)

第4条 委員の任期は、1年度とする。

2 任期の満了前に退任した委員の補欠として選任された委員の任期は、退任した委員の予定された任期が満了すべき時までとする。

3 委員は再任をさまたげない。

### (座長)

第5条 委員会に座長を置き、山形県教育委員会教育次長とする。

2 座長は、会務を総理する。

3 座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する委員がその職務を代行する。

### (会議)

第6条 委員会は、座長が招集する。

### (事務)

第7条 委員会の事務は、山形県教育委員会において処理する。

### (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、座長が定める。

### 附 則

この要綱は、令和3年1月21日から施行する。

## 運動部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会について

## 1 趣 旨

部活動が教員の長時間勤務や指導経験のない教員にとって多大な負担になっているとともに、生徒にとっては望ましい指導を受けられないなどの諸課題への手立てを、県教育委員会が、総合型クラブや県競技団体、中・高等学校関係者等の各関係団体と、部活動と地域スポーツクラブ等との連携の在り方を検討し、教員の働き方改革の推進と生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築を目指す。

## 2 概 要

県教育委員会が主催する運動部活動と地域等との連携の在り方を検討する会議において、既に県内で部活動と地域スポーツクラブ等が連携して活動している好事例の報告を踏まえ、中・高等学校の部活動の現状・課題を整理するとともに、その対策について意見交換を行う。

R2年度内に国の地域運動部活動推進事業を活用して、まずは中学校を対象に実践研究を行う拠点校及び地域スポーツクラブ等を選定する。R3～R4の2年間で拠点校及び当該地域スポーツクラブ等により研究を実践する。その成果と課題については、検討委員会で評価・見直しを行う。R5以降も、運動部活動と地域部活動における運営団体との連携の在り方について検討していくとともに、高等学校についても併せて検討を進める。

\*地域スポーツクラブ  
総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、単一種目スポーツクラブ等の総称

## 3 組 織

検討委員 25名

No	氏 名	所属役職名	検討委員会	作業部会	備 考
1	片 桐 寛 英	県教育庁教育次長	○		
2	荒 澤 賢 雄	県市町村教育委員会協議会会長	○		山形市教育委員会教育長
3	高 橋 政 吉	県中学校長会会長	○		山形市立第二中学校長
4	津 田 浩 浩	県高等学校長会会長	○		山形西高等学校長
5	永 森 忠 大	県PTA連合会副会長	○		山形西高等学校PTA会長
6	佐 藤 雄 一	県中学校体育連盟会長	○		山形市立第六中学校長
7	柴 崎 浩 浩	県高等学校体育連盟会長	○		山形中央高等学校長
8	阿 部 稔 稔	県高等学校野球連盟会長	○		山形工業高等学校長
9	奥 山 雅 信	(公財) 県スポーツ協会常務理事(兼) 事務局次長	○		
10	榎 本 慎 一	(公財) 県スポーツ協会クラブアドバイザー	○		
11	五十嵐 英 治	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	○		
12	遠 藤 啓 一	県スポーツ少年団本部長	○		
13	野 崎 剛 剛	県立鶴岡南高等学校アーチェリー部顧問	○		鶴岡南高等学校教諭
14	阿 部 諭 諭	総合型地域スポーツクラブマネージャー	○	○	さけがわ友遊C'Love
15	本 田 裕 一	(公財) 県スポーツ協会事務局次長	○	○	
16	阿 部 敦 司	(公財) 県スポーツ協会事務局次長	○	○	
17	林 隆 弘	県広域スポーツセンタークラブアドバイザー	○	○	
18	鈴木 章 人	県中学校体育連盟理事長	○	○	山形市立第二中学校教頭
19	佐 藤 重 実	県高等学校体育連盟理事長	○	○	山形中央高等学校教頭
20	菅 谷 明 浩	県高等学校野球連盟理事長	○	○	山形工業高等学校教諭
21	濱 田 芳 郎	教育庁教職員課働き方改革室長補佐	○	○	
22	佐 藤 元 元	教育庁義務教育課課長補佐	○	○	
23	地 主 佳 子	教育庁高校教育課課長補佐	○	○	
24	戸 屋 学 学	教育庁特別支援教育課課長補佐	○	○	
25	熊 谷 雅 志	山形市教育委員会スポーツ保健課主任指導主事	○	○	

事務局：スポーツ保健課 佐藤裕恒課長 他9名、各教育事務所担当指導主事等8名

# 運動部活動と総合型地域スポーツクラブとの連携モデル

## I 指導者派遣型

クラブより指導者派遣を行っている(外部コーチ、部活動指導員、単発の指導者派遣など)

ほなみふれあいスポーツクラブ 山形TFC 徳内ふれあいスポーツクラブ 金山健康ふれあいスポーツクラブ 舟形町総合型地域スポーツクラブB&G スポーツクラブ OMONO 稲穂ファミリースポーツクラブ はぐるスポーツクラブ 希望ヶ丘体育文化振興会 ひらた目ん玉スポーツクラブ きらり川南スポーツクラブ	金井中 山本学園、山形学院、山形北 地 楯岡中 金山中 舟形中 米沢六中 鶴岡二中 羽黒中 酒田一中 酒田市立東部中 酒田四中	学校数:13校 他
クラブ数:11クラブ		学校数:16校

## II 単一校受入型(チーム受入型)

部員を会員として受け入れ(有料会員登録)やクラブの活動として部員の受け入れを行っている。また、学校に部活動がない種目の活動のサポートを行っている。学区に根差し、単一校を受け入れている。

ほなみふれあいスポーツクラブ 徳内ふれあいスポーツクラブ 山形県スポーツ振興21世紀協会 尾花沢総合スポーツクラブ 舟形町総合型地域スポーツクラブB&G Oh蔵SPORT さががわ友遊C`Love とざわスポーツクラブ スポーツクラブ OMONO たかだてスポーツクラブ はぐるスポーツクラブ あさひスポーツクラブ 希望ヶ丘体育文化振興会 ひらた目ん玉スポーツクラブ きらり川南スポーツクラブ みかわスポーツクラブ	金井中 楯岡中 創学館 尾花沢中 舟形中 大蔵中 鯉川中 戸沢中 米沢六中 鶴岡五中 羽黒中 朝日中 酒田一中 酒田市立東部中 酒田四中 三川中	学校数:16校
クラブ数:16クラブ		学校数:16校

## III 複数校受入型(種目拠点型)

部員を会員として受け入れ(有料会員登録)やクラブの活動として部員の受け入れを行っている。また、学校に部活動がない種目の活動のサポートを行っている。地区・学校を問わず、種目の拠点として受け入れている。

生涯スポーツ振興会(アプルス) 山形TFC 寒河江市総合スポーツクラブ スポーツクラブ米沢 アビーカ米沢	フェンシング 陸上競技 ゴルフ 水泳(飛込) サッカー	学校数:複数 種目数:5種目
クラブ数:5クラブ		学校数:3校

## IV 学校全体受入型

基本的にはIIと同じであるが、すべての部活動を対象として受け入れを行っている。

舟形町総合型地域スポーツクラブB&G あさひスポーツクラブ さががわ友遊C`Love	舟形中(すべての部) 朝日中(すべての部) 鯉川中(運動部加入者は全員会員)	クラブ数:3クラブ 学校数:3校
--------------------------------------------------	----------------------------------------------	---------------------

## V 側面的支援型

施設確保、バス利用、保険加入、スポーツ研修会実施など

ほなみふれあいスポーツクラブ 尾花沢総合スポーツクラブ 山形県スポーツ振興21世紀協会 金山健康ふれあいスポーツクラブ たかだてスポーツクラブ 希望ヶ丘体育文化振興会 きらり川南スポーツクラブ	金井中 尾花沢中 創学館高 金山中 鶴岡五中 酒田一中 酒田四中	学校数:7校
クラブ数:7クラブ		学校数:6校

## VI 大会・イベント開催協力型

学校の行事への協力支援、またはクラブのイベント等への協力

尾花沢総合スポーツクラブ 舟形町総合型地域スポーツクラブB&G さががわ友遊C`Love たかだてスポーツクラブ 希望ヶ丘体育文化振興会 ひらた目ん玉スポーツクラブ	尾花沢中 舟形中 鯉川中 鶴岡五中 酒田一中 酒田市立東部中	学校数:6校
クラブ数:6クラブ		学校数:6校

## 連携状況

クラブ(数)	学校(校)
村山	7
最上	5
置賜	2
庄内	9
合計	23
25	

備考  
 ○学校:公立中学校、公立高校、私立高校  
 ○23クラブ/62クラブ(37.1%)  
 ○「85クラブから休止クラブ3除いたクラブ数  
 ○「現在連携無し」と回答のクラブ32クラブのうち、  
 「今後連携を検討」が8クラブ

## (1) 運動部活動と地域クラブ等の現状と課題

	現状	課題															
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務を要しない日（週休日）の部活動指導は、教員の献身的な勤務によって実施されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外在校等時間 45h 超の教員の割合 中学：52.2% 高校：41.6%（6月～9月）</li> <li>勤務時間外の主な業務内容（上位4項目）</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>中学校</th> <th>高等学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>校務分掌(23.4日)</td> <td>校務分掌(26.4日)</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>授業準備等(17.6日)</td> <td>部活動(22.2日)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>部活動(16.5日)</td> <td>授業準備等(19.7日)</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>生徒指導(1.9日)</td> <td>生徒指導(3.0日)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(4月～9月) (R2 時間外在校等時間調査結果 上期分)</p>		中学校	高等学校	①	校務分掌(23.4日)	校務分掌(26.4日)	②	授業準備等(17.6日)	部活動(22.2日)	③	部活動(16.5日)	授業準備等(19.7日)	④	生徒指導(1.9日)	生徒指導(3.0日)
	中学校	高等学校															
①	校務分掌(23.4日)	校務分掌(26.4日)															
②	授業準備等(17.6日)	部活動(22.2日)															
③	部活動(16.5日)	授業準備等(19.7日)															
④	生徒指導(1.9日)	生徒指導(3.0日)															
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な指導をできない教員が半数いる。</li> <li>専門的な指導ができる割合 中学：47% 高校：49% (H30 部活動実態調査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動指導が心身共に教員の多大な負担となっている</li> <li>生徒のニーズ（専門的な技術指導）に答えきれていない</li> </ul>															
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化による運動部加入数の減少 中学：H28 23,650人→R2 20,248人 高校：H28 18,020人→R2 16,088人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校単位で大会に参加できない</li> <li>生徒がやりたい種目の部活動がない</li> </ul>															
④	<ul style="list-style-type: none"> <li>中・高等学校の部活動と連携している総合型クラブは 23/62 クラブである。 (R1 総合型地域スポーツクラブ実態調査)</li> <li>運動部活動と地域スポーツクラブ等の連携事例がある 中学：約半数 高校：約1/4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在連携している総合型クラブを含め学校の部活動を受け入れ可能な総合型クラブが少ない</li> <li>運動部活動の目的や種目に応じた指導者が不足している</li> </ul>															

## (2) 対策について

別紙参照

	<p><b>【研究の方向性について】</b></p> <p>《教員の働き方改革と効率的・効果的な部活動の在り方》</p> <p>①山形県における運動部活動の在り方に関する方針の徹底・見直し</p> <p>②スポーツ医・科学の見地に基づく効率的・効果的な活動の推進</p> <p>③部活動指導員の拡充と効果的な活用</p> <p>④勤務時間外の運動部活動を学校外の活動へ移行</p>
<p>・勤務を要しない日の部活動指導は、教員の献身的な勤務によって実施されている。</p> <p>・指導経験のない部活動の指導をしなければならぬ教員が約半数いる。</p> <p>・少子化による運動部加入数の減少。</p> <p>・中学、高校の部活動と連携している総合型クラブは23/62である。</p> <p>・運動部活動と地域スポーツクラブ等の連携が、中学校で約半数、高校で約1/4ある。</p>	<p>《生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築》</p> <p>①地域スポーツクラブ等の組織化(体制整備・人材確保・人材育成)</p> <p>②学校の運動部活動と地域等の連携に係る諸課題の整理</p> <p>③合同部活動の推進</p>
<p>・部活動指導が教員の長時間勤務の一因となっている。</p> <p>・部活動指導が、心身共に教員の多大な負担となっている。</p> <p>・生徒のニーズ(専門的な指導)に応えきれない。</p> <p>・学校単位で大会に参加できない。</p> <p>・生徒がやりたい種目の部活動がない。</p> <p>・現在連携している総合型クラブを含め、学校の部活動を受け入れ可能な総合型クラブが少ない。</p> <p>・運動部活動の目的や種目に応じた指導者が不足している。</p>	
<p><b>【Ⅰ 休日の部活動の段階的な地域移行】</b></p> <p>&lt;拠点校における実践研究&gt; R3~4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市部1校5部活動</li> <li>・町村部1校3部活動</li> <li>* 週休日は地域スポーツクラブとして活動(希望制)</li> <li>* 学校管理課外の活動</li> </ul>	<p>《期待される効果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動の選択肢が広がる</li> <li>・継続して専門的な指導を受けられることができる             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 競技力向上</li> </ul> </li> <li>・当該顧問の業務削減</li> <li>・希望する教員は地域スポーツクラブの指導者として指導を継続できる</li> <li>・地域スポーツの活性化</li> </ul>
<p><b>【Ⅱ 合理的で効率的な部活動】</b></p> <p>&lt;拠点校における実践研究&gt; R3~4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9ブロック18か所モデルプラン実践(応募形式)</li> <li>* 平日も含め、合同部活動の在り方について研究・検証</li> </ul>	<p>R5以降も継続して検討</p> <p>《今後考えられる課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営団体の体制整備</li> <li>・活動の長時間化</li> <li>・活動中の生徒指導のトラブルへの対応</li> <li>・運動部活動と地域スポーツクラブの役割分担</li> <li>・顧問とクラブコーチとの連携</li> <li>・大会への参加体制</li> <li>・保護者の負担経費の増加</li> </ul>

運動部活動と地域等の連携の在り方に関する検討委員会

入口	県高等学校野球連盟理事長 菅谷明浩	県高等学校野球連盟会長 阿部 稔	県教育庁教育次長 片桐寛英	県市町村教育委員会 協議会会長 荒澤賢雄	県中学校長会会長 高橋政吉
	県スポーツ協会事務局次長 本田裕一				県高等学校長会会長 津田 浩
	県スポーツ協会事務局次長 阿部敦司				県PTA連合会副会長 永森忠大
	県総合型地域スポーツクラブ 連絡協議会会長 五十嵐英治				県中学校体育連盟会長 佐藤雄一
	県スポーツ少年団本部長 遠藤啓一				県中学校体育連盟理事長 鈴木草人
	県広域スポーツセンター クラブアドバイザー 林 隆弘				県高等学校体育連盟会長 柴崎 浩
	県立鶴岡南高等学校 アチエリー部顧問 野崎 剛				県高等学校体育連盟理事長 佐藤重美
	総合型地域スポーツクラブ クラブマネージャー 阿部 諭				県教育庁教職員課 働き方改革室長補佐 濱田芳郎
	山形市教育委員会 スポーツ健康課主任指導主事 熊谷雅志				県教育庁義務教育課課長補佐 佐藤 元
入口	県教育庁特別支援教育課 課長補佐 戸屋 学	県教育庁スポーツ健康課 生涯スポーツ主査 須貝和幸	県教育庁スポーツ健康課 課長補佐 石田 充	県教育庁スポーツ保健課 学校体育主査 高橋 愛	県教育庁高校教育課課長補佐 地主佳子

事務局

